

第2学年*組 美術科学習指導案

指導者 守屋 真輝

1 題材名 おしゃべりな絵画

2 題材の目標

絵画作品を鑑賞することに关心をもち、造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図、創造的な表現の工夫などを感じ取り、自分の価値意識をもって味わう。

3 題材について

(1) 題材観

中学校学習指導要領解説美術編（平成20年9月）では、鑑賞領域の内容改善について、「自分なりの意味や価値をつくりだしていく学習を重視」し、「説明し合ったり批評し合ったりするなどの言語活動の充実」を図ることを示している。このことを踏まえて、本題材では、シャガールの絵画作品「私と村」を対象として鑑賞活動を行う。様々な要素を含むストーリー性のあるこの作品を提示することで、生徒は自由に感じたり考えたりしやすくなると考える。また、考えたことを他者と伝え合う言語活動を行うことにより、上記の改善事項に迫ることができると考える。

(2) 生徒の実態

本校の第2学年の生徒は、作品鑑賞への関心が高く、意欲的に取り組んでいる様子が見られる。一方で、互いの作品を鑑賞した感想文を見ると、友人の作品について簡単なほめ言葉でのみ評価し、どの部分でそう感じたかなどの根拠が明確でない記述も見られる。鑑賞についてのアンケートでは、鑑賞の能力を高めるために必要なことについて、半数近くの生徒が「想像する力」と回答していることから、対象としっかりと向き合い、想像力を働かせながら鑑賞することが大切であると考えている生徒が多いことが分かる。しかし、鑑賞をする際に正しいことは、「人の意見に左右されない。」、「話をしないで静かに鑑賞する。」と回答している生徒が合わせて半数程度いることが分かった。

(3) 指導観

生徒の実態を踏まえ、本題材では、シャガール「私と村」の鑑賞において、まず、作品鑑賞の視点を〔共通事項〕を基に示し、考えたことの根拠を明確にしながら鑑賞できるようにする。その際、教師側から作品の解説は一切行わずに、描かれている事実とそこから想像をふくらませ感じ取ったことについて、ワークシートに自由に記述するようとする。次に、少人数のグループになり、自分が鑑賞したことを、互いに根拠を明確にしながら伝え合うようとする。このことにより、鑑賞は自己の中で完結するものではなく、他者と語り合うことによって新たな価値観が生まれ、鑑賞の能力が更に深まる 것을実感させたいと考える。

4 題材の評価規準

観点	美術への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
評価規準	絵画作品の造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図、創造的な表現の工夫などに关心をもち、主体的に感じ取ろうとしている。	造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図、創造的な表現の工夫などを感じ取り、自分の価値意識をもって味わっている。

5 指導と評価の計画（1時間扱い）

次 時	学習内容及び活動	評価計画		学習活動に即した評価規準 ()は評価方法	
		関	鑑		
1 1	・作品を鑑賞し、自分なりの感想や考えを書く。 ・自分の考えを発表したり、友人の意見を聞いたりしながら、再度、作品を鑑賞して話し合う。	○	○	・絵画作品の造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図、創造的な表現の工夫などに関心をもち、主体的に感じ取ろうとしている。 (観察、ワークシート) ・造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図、創造的な表現の工夫などを感じ取り、自分の価値意識をもって味わっている。 (ワークシート、観察)	

6 本時の学習

(1) 目標

絵画作品を鑑賞することに関心をもち、造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図、創造的な表現の工夫などを感じ取り、自分の価値意識をもって味わう。

(2) 準備・資料

シャガール作品「私と村」（個人用・掲示用）、鑑賞活動の説明に使用する絵画・写真、リフレクション（振り返り）シート、鑑賞の語彙表

(3) 展開

学習活動及び内容	形態	指導上の留意点、◎評価
1 本時の課題を知り、活動内容を確認する。 作品を鑑賞し、自分なりの見方や考え方を深めよう	一斉	・学習の見通しをもてるよう、本時の学習目標を知らせる。 ・期待感をもって鑑賞できるように、自分の感性や想像力を働かせて自由に鑑賞する活動であることに触れ、鑑賞方法や流れを確認する。 ・鑑賞活動の具体的なイメージが湧くように、生徒にとって理解しやすい絵画や写真を提示しながら鑑賞方法を確認するようにする。
2 参考用絵画や作品を使って鑑賞方法を確認する。 【鑑賞方法】 (1) 描かれている「事実」と「感じ取ったこと」を整理しながら鑑賞する。 (2) 自分で鑑賞したことを、他者と伝え合う。	個別	・まずは、タイトルを直感でイメージするようにして、鑑賞活動に取り組みやすくする。また、最初に作品のイメージをもつことで、活動が進むにつれて、鑑賞が深まっていくことを実感させたい。
3 シャガール作品「私と村」を、個人で鑑賞する。 (1) 第一印象からタイトルを考える。 (2) 描かれている「事実」を見る。 (3) 「事実」から「感じ取ったこと」を考える。		・机間指導を行い、描かれている「事実」につ

			<p>いて、画面の細かな部分にも注目できるように個別に支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「感じ取ったこと」については、話し合う際のヒントになるように、メモ程度でよいことを伝える。 グループでの鑑賞を始める前に、話合いのルールを確認するとともに、本時の課題を達成しようという意識付けをする。 グループ内で、活動をリードできる生徒を中心にして、スムーズに進めるように助言する。 <p>◎絵画作品の造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図、創造的な表現の工夫などに関心をもち、主体的に感じ取ろうとしている。</p> <p style="text-align: right;">(観察、ワークシート)</p> <p>◎造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図、創造的な表現の工夫などを感じ取り、自分の価値意識をもって味わっている。</p> <p style="text-align: right;">(ワークシート、観察)</p> <ul style="list-style-type: none"> 話合いが進んでいないグループには、教師が意見を分類・整理したり、質問をしたりして、会話のきっかけがつかめるようにする。 話合いに参加できない生徒には、言葉かけをしながら理由をつかみ、活動に向かえるよう意欲付けをする。 もう一度作品のタイトルを考えることで、自分の見方や考え方に関りがあったかどうか振り返ができるようとする。 教師が、本時の活動の様子と鑑賞の能力についての成長を認め、今後の活動に生かしていくように言葉かけをする。
4 ワークシートにまとめたことを基にグループで鑑賞する。 【話合いのルール】 <ul style="list-style-type: none">・「事実」と「感じ取ったこと」を明確にして、根拠を示しながら伝える。・友人の発言をよく聞いて、共感でききるとらえ方を取り入れる。 (1) 一人ずつ鑑賞したことを発表する。 (2) 発表をまとめ、多く話題に出たことや新たな疑問点などを中心に話し合う。	グループ		
5 本時のまとめをする。 (1) タイトルをもう一度考え、リフレクションシートに振り返りを記入する。	個別 一斉		